

今ある健全な森守り育て 自然と共に生きよう

東日本大震災

私たちに できること

作家 C.W.ニコルさん

東北は大好きな地です。

カキ養殖で知られる宮城県
気仙沼市、捕鯨基地のある
石巻市・鮎川……何度も足を
運びました。大勢の友人
が暮らしている町です。想
像を超えた災害に、私の心
も打ちひしがれています。

40年近く前のことです
が、巨大タンカーにカナダ
西海岸の海峡を通航させる
計画がありました。米アラ

スカ産原油を最短ルートで
運ぶためです。カナダ環境
省の技官だった私は当然、
反対の立場でした。

そんな折、岡山県倉敷市
の瀬戸内海岸にある水島コ
ンビナートで1974年、
重油の大規模な流出事故が
発生しました。緊急来日し

英国出身。ナチュラリス
ト。森を再生する「アファン
の森財団」理事長。70歳。



た私は、3週間ほどかけて
環境被害やオイル除去費用
などをリポートし、その結
果、カナダ政府は計画廃止
を決めたのです。タンカー
は現在も海峡通過を許され
ていません。英断でした。

くしたタンカーが流出事故
を起こす危険などあり得な
い」と多くの「専門家」から
非難されたものです。けれ
ど実際には、89年3月、アラ
スカ湾でタンカーが座礁、
同湾の2100㏊に及ぶ生
態系を破壊したのでした。

天皇、皇后両陛下が避難所
を回って被災者に言葉をお
かけになるような、癒やし
と安らぎの国なんです。

巨大な防潮堤を造っても
自然の力は再び想定を超え
るかもしれません。東京の
無駄な電力消費もばかばか
しい。それより、美しい国
土の再現を目指す好機だと
思うのです。私は、今ある
健全な森を守り育てながら
健全な川を通して健全な水
を海に送ります。住宅用に
コンクリートでなく良い木
材も作ります。みんなにも
協力してほしい。孫子のた
めです。大丈夫。日本には
やり遂げる力があるので
す。【聞き手・根本太一】

美しい国土の再現を